

スーパージュニア選手育成プログラム 2018

～特別プログラム（東京遠征研修）～

「スーパージュニア選手育成プログラム 2018 -体験プログラム-」に参加した選手が、日本代表選手が合宿・練習する施設等の視察研修を通して、将来のスポーツ活動の目標を決める参考となり、国民体育大会の広島県代表やオリンピック出場を目指すアスリートに育つことを期待して、平成31年3月23日(土)から24日(日)の1泊2日の日程で特別プログラムを実施しました。

今回は、5回の体験プログラムとファイナルトライアルの全日程に参加した6年生男女9名とその保護者が参加しました。

3月23日(土)、朝8時に広島駅に集合し、東京へ向けて出発です。計6回のプログラムを経験した仲間同士、新幹線の中では話が弾んでいました。



東京駅到着後、広島県出身の為末大さんが館長を務める「新豊洲 Brillia ランニングスタジアム」に向かいました。ここでは、所属のコーチの方から走り方の指導をしていただきました。走る時の姿勢や地面の蹴り方など、一つ一つの動作を確認しながら教わり、最後の50m走測定では「自己ベストより1秒も速くなった！」と喜ぶ選手の姿も見られました。「走る」という動作は多くのスポーツの基礎になるので、教わったことをこれからも継続してほしいと思います。

その後は、東京タワーや浅草など、東京を感じる時間となりました。各親子がそれぞれに自由時間を満喫しました。





3月24日(日)、「味の素ナショナルトレーニングセンター」に向かいました。柔道、卓球、レスリング、ボクシング、体操、ハンドボール、陸上競技など、日本代表選手などが合宿・練習する各競技施設を見学しました。実際に代表選手が練習中の施設では、参加者たちはトップレベルの練習を息を呑んで見つめていました。

昼食は、センター内の SAKURA Dining でアスリートと同じ食事を試食し、トップを目指すアスリートの食事の摂り方などを学びました。



東京は、最高気温9度というこの時期では異例の寒さでしたが、桜も少しずつ咲いていて、春の訪れを感じることができました。

この春から、参加した子供たちは中学生になります。今回の貴重な経験を活かし、今後のアスリートとしての成長、また人間としての成長を期待したいと思います。

